|  |  |
| --- | --- |
| INABA　TIMES**なかよく****あかるく****たくましく** | **いなば 　 タイムズ**No.１２０**三重県立稲葉特別支援学校　平成３１年４月２６日　特別支援部発行** |

４月９日（火）に入学式が行われました。７４名の新入生は、緊張しながらも立派な態度

**御入学おめでとうございます**

で校長先生やＰＴＡ会長のお話を聞くことができました。在校生代表の山下碧海さんから、歓迎の言葉が送られました。みなさんが自分のもてる力を最大限に発揮し、

充実した学校生活を送ることを期待しています。

**校長あいさつ**

　桜の花が咲く中、小学部５人（内転入者１人）、中学部１７人、高等部５２人の

新たな児童・生徒を迎え、総勢１９０人の大所帯で今年度スタートいたしました。

　さて、本校は、「なかよく、あかるく、たくましく」を校訓とする子どもたちが主人公の学校です。友達と仲良く、明るく、元気に学校生活を送り、たくましく成長し、将来、社会の一員として自立する力をつけてもらいたいと日々教育活動に取り組んでおります。昨年度は、「太鼓部によるインターハイのオープニング演奏」、「サッカー部が全国大会でベスト４」、「都シティ 津（旧：津都ホテル）２階で本校児童・生徒の作品展示」等、子どもたちの活動の幅が広がりました。応援していただく全ての方の協力があってこそと感謝しております。

　学校・家庭・地域が一体となって大切なお子様を育ててまいりたいと思います。今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

**新教頭あいさつ**

****本年度から教頭として赴任しました山下和彦です。

当時は「稲葉養護学校」でしたが、昭和６３年４月から平成４年３月までの４年間、本校に勤務していました。その頃、高等部の作業棟の入り口に、子どもたちと一緒に桜の苗木を記念植樹した思い出があります。その苗木が、今、とても大きな桜の木になっています。この間、特別支援教育にも大きな変革がありました。平成１９年の「特殊教育」から「特別支援教育」への変革です。保護者の皆様や関係機関の皆様と連携する中で、教育実践を行っていくことが重要となりました。

これから、多くの子どもたちや保護者の皆様、関係機関の皆様とかかわりを持つ中で、自分自身の特別支援教育についての集大成の時期をこの稲葉特別支援学校で過ごしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

**三重県立稲葉特別支援学校**

住所　　〒514‐1252　三重県津市稲葉町字上野4101

電話　　小学部職員室　　059‐252‐2802

電話　　中学部職員室　　059‐252‐2803

電話　　高等部職員室　　059‐252‐2801

電話　　進路担当　　　　　059‐252‐1250

電話　　事務室　　　 　 059‐252‐1221

電話　　寄宿舎 　 059‐252‐1228

FAX　　　　　　　　　　　　　059‐252‐1225





※授業時間帯は、不在の場合があります。

また、職員打合せ時（8:30～8:45）の連絡はご遠慮ください。

いなばタイムズでは、福祉の情報や各学部のトピックスなどを紹介していきます。

今年度は、各学期に発行予定です。また、福祉のこんな情報を載せてほしい等のリク

エストがありましたら、各学部コーディネーターまでお知らせ下さい。



**特別支援部紹介**

**特別支援部＆特別支援教育コーディネーターの紹介**

**小学部コーディネーター**前川　桂子

**中学部コーディネーター**　水谷真理子

**高等部コーディネーター**　渡邉　裕子

**特別支援部**

小林慎　米田さおり　小嶋まき

杉田喜彦　岩城育枝　盆野朱実

大森啓介　川邊英史

特別支援部では、支援会議を行い、関連機関と連携を取りながら、子ども達へのより良い支援を目指します。小学部と中学部の１年生は、保護者の方にもお越しいただき、夏休みに支援会議を行いますので、ご予定下さい。適切な支援を引き継ぐために、個別の教育支援計画を推進し、毎年見直しを行います。通信『いなばタイムズ』を通して、子どもたちの支援に繋がる情報を発信していきます。どうぞよろしくお願いします。

**津市健康福祉部障がい福祉課**

障がい福祉全般に関することは、津市役所内の津市健康福祉部障がい福祉課に

お尋ね下さい。また、地域には各総合支所がございますので、そちらに

問い合わせをして頂いても対応して頂けます。

　津市西丸之内23番1号

**☎：059－229－3157**

**各総合支所**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 久居総合支所福祉課 | 電話059-255-8834 | FAX059-255-6634 |
| 河芸総合支所市民福祉課 | 電話059-244-1703 | FAX059-244-1713 |
| 芸濃総合支所市民福祉課 | 電話059-266-2515 | FAX059-266-2522 |
| 美里総合支所市民福祉課 | 電話059-279-8116 | FAX059-279-8125 |
| 安濃総合支所市民福祉課 | 電話059-268-5516 | FAX059-268-3357 |
| 香良洲総合支所市民福祉課 | 電話059-292-430２ | FAX059-292-4318 |
| 一志総合支所市民福祉課 | 電話059-293-3003 | FAX059-293-3021 |
| 白山総合支所市民福祉課 | 電話059-262-7015 | FAX059-262-5010 |
| 美杉総合支所市民福祉課 | 電話059-272-8084 | FAX059-272-0235 |

**中勢児童相談所**管轄地域：津市、松阪市、多気郡

児童相談所は、児童福祉法に定められた相談機関であり、一義的な相談窓口である市町の後方支援機関として、児童についての相談のうち、専門性を要する事例や児童虐待など難しい事例に対応する行政機関です。

津市一身田大古曽694-1

**☎：059-231-5666**

☆子どもが虐待されていると思われるとき

☆事情があって家庭で子どもを育てることができないとき

☆療育手帳の判定を受けたいとき

☆その他、非行・問題行動・不登校等

**三重県自閉症・発達障害支援センター れんげ**

（社会福祉法人　おおすぎ）

津市城山１丁目１２－２

**☎：059-238-0002**

**発達障害について相談したいとき**

自閉症・アスペルガー症候群・レット症候群

・ADHD（注意欠如、多動性障害）

・LD（学習障害）等の方が対象で、関係機関と連携し相談に応じています。

◆福祉サービスは利用されていますか？

本校の児童生徒が最も多く利用している福祉サービスに、「放課後デイサービス」と「日中一時支援」があります。以前に比べると、多くの事業所の車が、学校へお迎えにみえています。早い段階から福祉とつながり、療育を受けたり、経験を増やしたりすることで、将来の進路にも広がりを持つことができるのではないでしょうか。福祉サービスの利用の方法につきましては、すでにご存じの保護者の方も含め、下記の図をご覧ください。福祉サービスを利用されたい方は、まず、「津市健康福祉部障がい福祉課」か「各総合支所」にご相談願います。



なお、障がいのある児童については、平成27年4月から「サービス等利用(障がい児支援)計画」を作ることが必須となっています。※（日中一時支援と移動支援のみの利用の方は作成しなくてもよいということです。）「日中一時支援」の夏季休業等、長期休暇の利用は、すぐにいっぱいになってしまいますので、早めの予約がおすすめです。

◆福祉サービス連絡先一覧

別紙で入れさせていただきました。詳しくは県のホームページをご覧下さい。

**放課後等デイサービス**

障がいのある**就学している子ども**のための通所支援施設。生活能力の向上の

ために必要な訓練、社会との交流の促進などの支援を受けることができます。

**日中一時支援事業所（就学時間を除く）**

障がい児・者等の日中における活動場所を確保し、家族の就労支援及び家族の一時的な休息を目的としています。利用する場合は、所定の手続きが必要となりますので、津市役所 障がい福祉課または、各総合支所窓口までお問い合わせください。

◆『支援ツール（はっぴぃのーと・パーソナルカルテ）』を持ちましょう

津市が作成したもの

三重県が作成したもの

どちらも、支援者が情報を共有し、途切れのないより良い支援をつなぐために必要で有効なものです。お持ちでない方は、どちらかをお持ちいただきますようお願い致します。5月14日のＰＴＡ総会前の10:40～11:00にみんぐる（津市のはっぴぃのーとの担当者）から、はっぴぃのーとの説明があります。説明会に出席されましたら、その場でいただくことができます。（通常は福祉課に行って申し込むことになっています。）出席できない方には、家庭訪問でパーソナルカルテをお渡しします。また、学期末の懇談会には、支援ツール（はっぴぃのーと・パーソナルカルテ）をお持ち下さい。